



Title	CALLシステムによる外国語教育特集によせて
Author(s)	竹蓋, 順子
Citation	サイバーメディア・フォーラム. 2009, 10, p. 3-4
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/70278
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

特集

特集：CALLシステムによる外国語教育

CALL システムによる外国語教育特集によせて

サイバーメディアセンター マルチメディア言語教育研究部門 竹蓋 順子

今号の特集は「CALLシステムによる外国語教育」です。そもそもCALLとは何か、ご存じでしょうか。CALLとはComputer-Assisted Language Learningの省略であり、ここではコンピュータを使用した外国語教育全般を指して使用しています。国内ではCALLシステムは2000年頃から普及し始めました。その後、多くの教育機関で大規模なシステムが導入されハードウェアは整備されましたが、それを活用した授業実践に関しては、まだ十分に研究の余地があると言われます。

いくつかの特集記事で、WebOCM（ウェブ・オーシーエム）というシステムが取り上げられていますが、これは学内を始め、国内外の教育機関において広く利活用されているLearning Management System（LMS）で、国立七大学外国語教育連絡協議会付属の国立七大学外国語CU委員会の研究プロジェクトから発展した「外国語サイバー・ユニバーシティ・プロジェクト」（代表：北海道大学伊藤直哉、副代表：大阪大学細谷行輝）が中心となり開発が進められているシステムです。このLMSをCALL教材と組み合わせ使用することで、質の高い授業が提供できることがこれまでに報告されています。

今号の特集では、CALLシステムは整備されているがその利活用方法が分からない、あるいは、CALL教材およびLMSの更なる効果的な活用方法を検討していらっしゃる方々を主な読者対象として、本分野において先駆的な試みを実践されている学内外の先生方に執筆して頂きました。

まず、東北大学大学院国際文化研究科の杉浦謙介氏から、2004年10月に東北大学全学教育の標準LMSとして導入されたWebOCMとCALL教材とを組み合わせたドイツ語の授業実践について、具体的にご紹介いただきます。

広島大学大学院総合科学研究科の吉田光演氏、広島大学外国語教育研究センターの岩崎克己氏からは、広島大学のCALL環境についてご説明いただくと共に、広島大学でのCALL開発の理念の転換、及びCALL教材の典型例についてご紹介いただきます。

武庫川女子大学のJudy Noguchi氏には、大学学部生および大学院生を対象とした理系ESPのCALL授業例を取り上げ、ポッドキャストや英語学習サイトなど、インターネット上のWeb素材をどのように利用すればシステミック・リテラシーの育成に役立つのか、ということに関して具体的授業方法を紹介していただきます。

本学の外国語教育に本格的にCALL教室が導入された2000年度からCALL教室での授業を担当されている大阪大学言語文化研究科の日野信行氏からは、CALLを活用した国際英語教育について具体的にご報告いただくと共に、CALL教室の設備を活用した授業の本質、そして英語教育の理念について論じていただきます。

勤務大学にて全学の教育カリキュラムに深く関わり、CALL教室の更新にも関わっていらっしゃる首都大学

東京人文科学研究科の保阪靖人氏からは、国内諸大学のCALLに関する実情について虚心坦懐にご報告いただきます。

本特集が、CALLを用いた効果的な授業を実現するために日々尽力されている皆様、そして、これからCALLでの授業を始めようとされている皆様のご参考になれば幸いです。最後に、ご多忙中にもかかわらず、本特集にご寄稿頂きました諸先生方に、改めてお礼申し上げます。

- ・ WebOCM を活用した外国語教育 ―東北大学の「基礎ドイツ語 e-Learning」コース― ----- 杉浦 謙介
- ・ 広島大学におけるドイツ語 CALL 教材と CALL の実践 ----- 吉田 光演・岩崎 克己
- ・ The CALL classroom as a window to systemic literacy ----- Judy Noguchi
- ・ CALL 教室を活用した「国際英語」教育 ----- 日野 信行
- ・ 諸大学における CALL 事情 ----- 保阪 靖人